

一 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

日本での農薬の使用は1960年代後半に本格的になりました。ただ、出荷用の作物の畑には農薬を使っても、農家が自家消費する作物の畑にはめつたに使うことはありませんでした。①これについて、「農民は出荷用にだけ農薬を使う。農薬は毒だとわかっているから自分が食べるものには使わない」などと解説する「専門家」がいましたが、それは②誤解です。

農家は現金収入が少ないのに農薬は高価です。そのため、ア見栄えがよくないと都会人に買ってもらえない出荷用の作物には農薬を使い、自分たちが食べる分は形が悪くても構わないので、経費節約のため使わなかったというのが実情でした。

確かに1970年代まで農薬の健康被害は深刻でした。

かつての農家では台所と作業場との区別がなく、農作業の準備には水が不可欠で、水道はたいいてい家に一カ所しかありませんでした。そうした家の子供が、棚に置かれたきれいなビンの農薬をジュースと勘違いして飲んでしまう誤飲事故が後をイ絶ちませんでした。

当時の第一世代農薬は劇毒物だったため、一口飲んだだけで命を落としました。そんな事故のニュースが連日のように、新聞に載っていました。

ヘリコプターによる空中散布は[]に行われ、早朝、通学途上の小学生の集団に大量の農薬が投下され、ギャグ漫画さながらに全員真つ白になってしまうこともありました。そして……全身のかゆみや止まらなくしゃみやみ、鼻水Ⅱいわゆる「アレレルギー」が流行りだしたのはそのころです。

日本人が農薬の害に対してあまりにも※無頓着だった時代の、③悲しいエピソードです。ただ、その時代ごとの科学知識のレベルには限界があります。当初、I画期的な良品と評価されたものが、後の時代に「あれは危険だった」とわかった例は多々あります。

日本で最初に使われた化学農薬である殺虫剤のパラチオンは、人間や動物にも猛毒でウ散布中の中毒事故が多発。敗戦後の子供のシラミ駆除の映像で有名なDDTは、人間の体内に残留して長期的に健康被害を起こすことが後になってわかりました。エ水田で使われる除草剤PCPは、猛毒物質であるダイオキシンを含み、魚に対しても強い毒性があることが判明しました。致死性の高い毒物を使用し、IIおざなりに扱っていたのだから、被害が続出するのも当然だったのです。

④そんな時代を才経て、農政官僚も企業も農民も次第に賢くなり、農薬の扱いに細心の注意を払うようになりました。有人ヘリによる大規模空中散布は現在では行われていません。誤飲事故や接触による事故もほぼなくなりました。

現在、認可登録されている農薬約500種類のうち、毒物に該当する危険なもの5種類ほど。家庭菜園でも使われている殺虫剤フェニトロチオンは、前述のパラチオンと同じ有機リン系の化合物ですが、毒性は400分の1になっています。

※ 無頓着…… 全く気にかけないこと

『食をめぐるほんとうの話』 共著 阿部尚樹 上原万里子 中沢彰吾

問一 太線部ア〜オの漢字の読みがなを答えなさい。

問二 二重傍線部Ⅰ・Ⅱの言葉の意味として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- Ⅰ 画期的な ア めざましい イ きらびやか ウ ありふれた エ 不自然な
Ⅱ おざなりに ア いい加減に イ 適切に ウ 注意深く エ 無意識に

問三 傍線部①「これ」とありますが、次の説明文の空欄に合う適切な言葉を指定された字数で本文中から抜き出さなさい。

(1 三字) の作物の畑には農薬を使っても、(2 四字) する作物の畑にはめったに使わないこと。

問四 傍線部②「誤解」とありますが、なぜこのような誤解が生まれたのですか。次の説明文の空欄に合うよう、本文中の言葉を用いて二十字以内で答えなさい。

() 実情があったから。

問五 本文は大きく「農薬を使用する農家への誤解」と「かつての農薬による健康被害」の二つの話題に分けられます。後半の話題が始まる段落の初めの五字を答えなさい。

問六 に入る言葉として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア 丁寧かつ慎重 イ 安易かつ粗雑 ウ 慎重かつ大胆 エ 粗雑かつ慎重

問七 傍線部③「悲しいエピソード」とありますが、エピソードとして適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 農家は自分たちが食べる作物だけは安全に作っていたと思われたこと。
イ 子供が農薬をジュースと勘違いして誤飲し、命を落としてしまうこと。
ウ 空中散布された農薬を浴びた子供に「アレルギー」症状が生じたこと。
エ 健康被害を起こすと知っていても摂取を避けられなかったということ。

問八 傍線部④「そんな時代」とありますが、どんな時代ですか。「―時代」に続くよう本文中から二十五字程度で探し、はじめと終わりの三字を答えなさい。

問九 本文の内容に合っていれば○、そうでなければ×と答えなさい。

- ア 農家は現金収入を少しでも増やすために、農薬を過剰にまき、補助金を得ていた。
イ かつては命を落とすことが現在よりも身近にあり、農薬の危険性を疑わなかった。
ウ 科学知識が未熟であったため、危険であっても良品と思われていた農薬もあった。
エ 農薬は現在も有毒なものが多く、私たちは農薬の危険性を考えなければならぬ。

二 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

「坊や、二階へ上がれ」

談志は突然そう云うと、アルス番電話にメッセージを吹き込みはじめた。

「談志です。今、弟子に稽古をつけてます。初めての稽古なので電話に出られません。一時間ほどしたら改めて電話をください」

僕を見て、

「①そういうことだ」

と云うと二階の和室にドツカと腰を降ろした。

「君も落語家を志すくらいだから、落語のひとつやふたつくらいはできるだろう。どんな※根多でもいいから、しゃべってごらん」

と云った。

気がイドウテンするとはこのことで、一遍にI頭に血が昇ってゆくの自分でもわかった。高校で落研をつくったくらいだから落語はできるが、そんなものは素人のお座興で通用するはずがなく、全て無視されて、プロを目指すために基本からみっちり叩き込んでやる、今まで覚えた根多は全て忘れろ、と云うとばかり思っていた談志が、予想に反して、聴いてやるから目の前で演ってみると云っている。

この②予期せぬ状況にどう対処してよいのやらわからなかったが、何か演らないとウヒジョウにまづいことになる、ということにはわかった。必死で瞬時に何を演ろうか考える。高校では、いつも自分が※トリだったから、大根多ばかり演っていた。すぐにできるものは、えーと、芝浜と、品川心中と、黄金餅と、明鳥と、考えているうちに泣きそうになった。③そんな根多を十七才の自分が語ってどうしようというのか、(あ)聴かせる相手は立川談志、日本で、一番落語の上手い人なのだから。

「師匠、僕でできません」

「何でもいいんだよ。エクチョウを確かめるだけだから。ちょっとだけしゃべってごらん」
談志は笑っていた。

(い) 必死で考える。何かないか、そんなに馬鹿みたいに大きい根多じゃなくて、つかえずに最後までしゃべれる根多はないかと、真剣に考えていた。

④今、思えば笑ってしまう。

高校生の素人落語を立川談志が最後まで、ちゃんと一席聴くはずがない。何でも良かったのだ、コンクールじゃあるまいし。ほんの一、二分で全てわかってしまう人が聴くのだから。だが、十七才の少年に当時、そんな度胸も開き直る心もあるはずがない。

必死で、それほど大きくない根多、人情噺以外の根多を考えた僕は、大山詣りを演ることにした。って、結局トリ根多なんだけどもね。

「師匠、僕ひとつしか落語できません」

「いいよ」

「本当にこれしかできないんです」

「わかった。怒らないから演ってごらん」

ものすごい優しい笑顔で談志が云う。II腹を決めてしゃべりだす。

「お笑いを申し上げます。旅と申しますと只今は観光となりますが、昔は観光を目的とした旅は許されませんでした。皆神信心をオタテマエにしていたそうで……」

「坊や、その部分は君に教わらなくても俺は知っている。根多に入っていよいよ」「はい」

そりやそうだろうけど、こっちは素人、順番にしゃべっていかないとわかんなくなっちゃうんですよ、師匠。

※根多……落語のことを指す

※トリ……ここでは最後に話す人のことを指す

『赤めだか』 著 立川談春

問一 太線部アゝオのカタカナを適切な漢字にしない。

問二 二重傍線部Ⅰ・Ⅱの言葉の意味として適切なものを選び、記号で答えなさい。

Ⅰ 頭に血が昇る

ア 驚きあきれる イ 感情が高ぶる ウ あわてふためく エ ふてくされる

Ⅱ 腹を決める

ア かるんじる イ 覚悟する ウ 気乗りしない エ 相手にしない

問三 波線部「云っている」の主語を答えなさい。

問四 点線部「できません」と同じ敬語が使われているものを選び、記号で答えなさい。

ア 大遅刻の理由を先生に申し上げる。 イ 老人が丁寧なごあいさつをされた。

ウ 家庭訪問で先生がいらつしやった。 エ そのことは後になって知りました。

問五 (あ)(い)に入る言葉として適切なものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア ところで イ つまり ウ しかも エ また

問六 傍線部①「そういうことだ」とありますが、説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア これから弟子の稽古をするので僕の相手はしないということ。

イ 弟子の稽古をするところを僕にも見せてあげようということ。

ウ 弟子の稽古を理由に、電話に一時間程度は出ないということ。

エ 今から僕に初めての落語の稽古をつけてあげようということ。

問七 傍線部②「予期せぬ状況」とありますが、僕はどのように云われると思っていたのですか。本文中から二十五字以上三十字以内で抜き出し、答えなさい。

問八 傍線部③「そんな根多」とありますが、これらはどのような根多であると考えられますか。説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 非常に簡単で誰でもできる根多 イ 世間によく知られていない根多

ウ よく知られ親しまれている根多 エ 悲劇的でこの場に合わない根多

問九 傍線部④「今、思えば笑ってしまう」とありますが、この説明として空欄に入る言葉
葉を本文中から探し、十五字で抜き出しなさい。

（ 高校生の素人落語を立川談志が最後まで、ちゃんと一席聴くはずがないのだから、
十五字 必要はなかったから。）

問十 立川談志の人がらとして適切なものを二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 僕を坊や呼ばわりして一人前扱いをしないなど、ずる賢い一面を持つ人物。
- イ 大根多ばかりを重視していた僕を厳しく怒ってくれる、感情が豊かな人物。
- ウ 僕が緊張しないように優しい笑顔を見せるといった、心配りが達者な人物。
- エ 僕の落語が面白ければ全てよしとする、落語家ならではの度量の大きい人物。
- オ 厳しくも優しい人物であるが、相手の話の流れを折る不器用さも持つ人物。